

# 最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

## 都技 生涯研修

### [重要なお知らせ]

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。  
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 東京都歯科技工士会会員
- 学生
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

### [申込開始日]

- 東京都歯科技工士会会員 : 7月18日(木) AM10時～
  - 学生・東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 7月20日(土) AM10時～
- \* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

### [申込方法]

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

\* 定員になり次第締切といたします。

\* オンラインによる公開は予定しておりません。

\* 受講確定後キャンセルする場合、至急ご連絡ください。代理人のご参加はご遠慮ください。

### [LINE公式アカウント登録のお願い]

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技では試験的にLINE公式アカウントを設けましたのでLINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



申込用



都技LINE公式  
アカウント二次元コード

### [お問い合わせ]

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F  
e-mail: [togi-info@to-ginet.com](mailto:togi-info@to-ginet.com)

2024年度

## 最新の歯科技工技術に関する講習会Ⅲ

対面 & オンラインセミナー

# 口腔内スキャンデータ 受注から納品まで

～IOSがもたらす物流変革と今から始められるデジタル化について～

- 第1部 IOSデータを取り扱うための基礎知識と具体的活用例について  
山本裕一先生
- 第2部 各社IOSデータのダウンロードからCADデザインまでのデモンストレーション  
老沼涼我先生
- 第3部 今日から誰でも始められる貴方にマッチングしたデジタル化導入について  
城田敦博先生/朱 俊先生



Tokyo master course Science Lecture

[開催日時]

2024年 8月18日(日)

受付 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

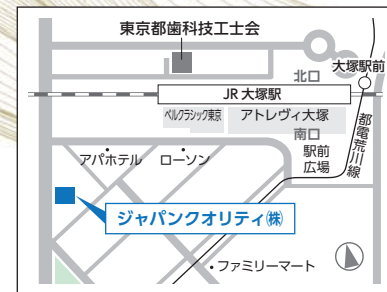
### オンラインセミナー

定員 80名 参加費 無料

### 会場受講

定員 15名 参加費 無料

場所 ジャパンクオリティ(株) 会議室  
豊島区南大塚3丁目30-3 大塚トーセイビルⅢ 10階  
\* 都技会場から徒歩3分位の場所になります。



当セミナーは口腔内スキャン (IOS) のデータを取り扱ったことがない、もしくは過去に扱っていたが現在は取り扱っていない方を対象にしたセミナーで、3部構成にて対面&オンライン形式で開催します。

なお、当日は協力メーカー様ご厚意によりIOSの実体験や3Dプリンターなどのデジタル機器類の見学もできますので、ぜひとも会場までお越しください。

一般社団法人 東京都歯科技工士会

いきなりですが、次の課題についてお考えください。  
『A氏は今年60歳、都内で個人ラボを経営し、保険がメイン。これまでデジタル技工の経験はない。住宅ローン等であと10年位は頑張りたい。時代の流れからデジタル技工導入も検討しているが大きな投資はできるだけ避けたい』

【問題】

A氏の希望に沿ったデジタル技工導入は可能だろうか？

皆様の答えはいかがでしょうか？ 一般回答として、「どこまで何を導入するかにもよるが、最低限ラボ用スキャナー、CADデザインソフト等を導入するだけでも200万円位の投資と、デザインソフトを使いこなすまでに時間がかかるので最終的には本人次第」、以上の回答になるかと思えます。しかしもし、投資ゼロから始められるデジタル化導入方法があったらとしたらA氏の反応はどう変わるでしょうか？

なお、6月から口腔内スキャナー(IOS)でスキャンされた光学印象(CADインレー)の保険収載が始まりました。今後対象症例の拡大も予想されますので、更なるIOSの普及が予想されます。

ある日、取引先歯科医院から「IOSを導入したが、引き続き技工物をお願いしたい」と連絡があった時に「取り扱っていない」と断るのか、今回のセミナーを機に知識を取得、かつ練習して「IOSデータ受注開始しました」と逆に取引先にご案内するようになるのかの2択になるかと思えます。

デジタル技工のメリットの1つは、自分の得意分野、環境に合わせてセレクトできること。例えば、CADデザインが苦手な場合、提携先にアウトソーシングすることでその分の投資と労務時間が軽減できます。

以上、今回のセミナーを通して1人でも多くの方が上記2択のうち、後者の選択に繋がりましたら幸いです。

第1部

IOSデータを取り扱うための基礎知識と具体的活用例について

■講師略歴

山本 裕一 [やまもと ゆういち]

- 東京都歯科技工士会 学術部会デジタル担当
- 日本歯科技工士会 デジタル担当部長



略歴

1980年 東邦歯科医療専門学校卒業  
2010年 東京都歯科技工士会（都技）、銀座歯科技工士会入会  
2016年 都技常務理事就任  
2022年 日本歯科技工士会デジタル部会メンバー就任  
2023年 任期終了に伴い都技役員退任、学術部会メンバーとして今日に至る

主な著書

2018年「インプラントシミュレーション・フリーソフトを用いた3Dプリンティングガイドについて」(日本歯技)  
2024年「今から始めるIOS（口腔内スキャナー）の基礎知識」(日本歯技)

第2部

各社IOSデータのダウンロードからCADデザインまでのデモンストレーション

■講師略歴

老沼 涼我 [おいぬまりょうが]

- QLデンタルメーカー株式会社 CADデザイン部部长



略歴

2017月 新東京歯科技工専門学校卒業  
同年 QLデンタルメーカー(株)入社、11月にCADデザイン部に配属  
今日に至る

主な講演

2022年7月 都技主催「exocadデザインソフト 3.0 Galwayを用いた実習コース」アシスタント

第3部

今日から誰でも始められる貴方にマッチングしたデジタル化導入について

■講師

城田 敦博 [しろた あつひろ]

- ジャパンクオリティ株式会社 代表取締役

朱 俊 [しゅ しゅん]

- ジャパンクオリティ株式会社 取締役 技術責任者